



みんなで作る交通安全の輪

## 【AIR-G' エフエム北海道】

### ～みんなで、STOP! DRUNK DRIVING(SDD)～

エフエム北海道は、「AIR-G'」として親しまれているラジオ局で1985年に開局しました。北海道に軸足を置いたコンテンツが多く、全道各地にリスナーがいます。

2007年に大阪で始まった「STOP! DRUNK DRIVING (ストップ! ドランクドライビング) プロジェクト」。略して「SDD」。一人でも多くの方々に賛同していただくことで、この世の中から飲酒運転をなくそうというこの運動に共感し、2014年、北海道内における独自の取組を始めました。

#### ◆アーティストもスポーツ選手もパーソナリティも！



※過去に掲示されたポスター

ラジオ局ならではの強みをいかし、スタジオに訪れる音楽アーティストやタレントのみなさんには、月替わりで「SDD HOKKAIDO アンバサダー」として、飲酒運転ゼロに向けたメッセージをいただき、番組の合間にスポット的に呼びかけています。

例えば、2024年7月のアンバサダーは、小樽市銭函に住むシンガーソングライター・小澤ちひろさん。小澤さんは、かつて、道や道警察、道交通安全推進委員会などが開催した「飲酒運転根絶の日」(7月13日) 決起大会にゲストとして登場したこともあり、飲酒運転ゼロに向けて強い思いを込めたメッセージをいただきました。

また、AIR-G'のパーソナリティの中からも、毎月「SDDメッセンジャー」を決め、それぞれの担当する番組の中で訴えるなど、ラジオ局全体でこの活動を進めています。

番組は、札幌市内中心部の街頭でも流れており、いつのまにか、「ストップ! ドランクドライビング」のフレーズが、私たち道民の耳に、心に刻まれています。

【2024年7月のアンバサダー】小澤ちひろさん  
お酒は美味しい、運転は楽しい。  
でも、お酒を飲んで運転するのは絶対にダメです。  
あなたも大切な人を思い浮かべてください。  
7月13日は北海道が定めた「飲酒運転根絶の日」です。  
飲酒運転は無くせる犯罪です。  
一緒にゼロにしましょう。

またこのプロジェクトに賛同するスポーツ選手などから直筆で寄せられたメッセージを掲載したポスターは、各地の警察署や関係機関に掲示されるなど、ラジオの外に飛び出している活動も広がっています。



### ◆思わずなる！ 子どもたちの書道コンクール

SDDプロジェクトに賛同したJD共済（運転代行業界による共済）では、毎年、「SDD全国こども書道コンクール」を実施しています。

「大人たちに伝えよう！飲酒運転をさせないために！」を合言葉に、全国を5つのブロックに分けて募集・審査を行い、各地の最優秀賞の子どもたちは大阪で開催されるLIVE SDDに参加できます。

AIR-G´では、JD共済とタイアップし、北海道・東北ブロックのコンクールの告知から受付、審査、表彰を担い、その様子や子どもたちの喜びの声をラジオで放送。

LIVE SDDの様子もオンエアしています。

作品は、説得力のあるものばかり。内容に加えて字体やデザインにも工夫や勢いがあり、大人もうならせる強いメッセージとなっています。作品の制作にあたっては、家族でワイワイ話し合う様子が目に浮かんできます。



#### 【第12回 SDD 書道】北海道・東北ブロック

最優秀作品（釧路市小6 澤邊優希さん）

酔いが回る 判断鈍る  
ハンドル握る 人生終わる

### ◆小樽の飲酒ひき逃げ事故から10年の夏。

2014年の夏、小樽ドリームビーチで発生した4人の若者が死傷する悲惨な飲酒ひき逃げ事故から、今年（2024年）でちょうど10年が経ちました。

今年の7月12日に札幌で開催された「飲酒運転根絶の日決起大会」では、SDDプロジェクトを中心的に進めてきたアナウンサー 高山秀毅さんが登壇しこれまでの取組を紹介。

「飲酒してもいい、運転してもいい。でも、飲酒したら運転しない、たったそれだけでゼロにできる！」と、SDDの考え方を力強く訴えました。

また、10年目の今年は、鈴木直道北海道知事や伊藤泰光北海道警察本部長からの声のメッセージを収録し、番組の合間などで何度も放送していただきました。



### ◆ススキノで啓発、飲食店訪問にも参加

高山さんには、7月13日に道や道警察とともにススキノで実施した街頭啓発や、飲食店の訪問にも積極的にご参加いただきました。高山さんは、「SDDプロジェクト」のステッカーを提供しながら、みんなで取り組むことの大切さをPR。その場で、ステッカーをエプロンに貼ってくださった定員さんもうらっしゃいました。



#飲酒運転 #子ども

